

市政アンケートモニター

くるもに

令和元年度第3回調査結果報告書

「生物多様性の保全」「人権のまちづくり」

久留米市



目 次

I	調査の目的	1
II	調査の概要	1
III	回答者の属性	1
IV	調査結果	
1	生物多様性の保全	
(1)	生物多様性について	2
(2)	「くるめ生きものプラン」について	3
(3)	自然環境の保全について	6
2	人権のまちづくり	
(1)	人権教育・啓発推進事業について	8
(2)	人権・同和問題について	9
V	使用したアンケート調査票	10

I 調査の目的

このアンケート調査は、市民の皆さんの市政に関する意向やニーズを把握し、今後の取り組みの参考データとするために実施しています。第3回目は次の調査を行ないました。

- (1) 生物多様性の保全：自然や生きものを守ることにに対する意識や行動を調査。
- (2) 人権のまちづくり：「中学校区人権のまちづくり」の周知度等を調査。

II 調査の概要

- (1) 調査地域・・・久留米市全域
- (2) 調査対象者・・・久留米市在住の満18歳以上の市民
- (3) 選任方法・・・住民基本台帳から無作為抽出した候補者の中からモニターを募集
- (4) 実施方法・・・インターネット調査
- (5) 調査テーマ・・・「生物多様性の保全」「人権のまちづくり」
- (6) 調査期間・・・令和元年9月27日～10月15日
- (7) サンプル数・・・362
- (8) 回収数(率)・・・313 (86.5%)

III 回答者の属性

		(人)	(%)
性別	男性	136	43.5
	女性	177	56.5
	計	313	100
年齢	20歳代以下	51	16.3
	30歳代	68	21.7
	40歳代	82	26.2
	50歳代	45	14.4
	60歳代	52	16.6
	70歳以上	15	4.8
	計	313	100
職業	農林漁業	4	1.3
	自営業	19	6.1
	給与所得者(常勤)	149	47.6
	パート・アルバイト(学生は除く)	53	16.9
	学生	13	4.2
	家事に専念	35	11.2
	無職	24	7.7
	その他	16	5.1
計	313	100	
地域ブロック	東部	29	9.3
	北部	54	17.3
	中央東部	41	13.1
	南東部	25	8.0
	中央部	52	16.6
	中央南部	63	20.1
	南西部	24	7.7
	西部	25	8.0
	合計	313	100

※地域区分(校区)

東部:	山川、山本、草野、善導寺、大橋 船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北部:	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島
中央東部:	西国分、東国分、御井
南東部:	上津、高良内、青峰
中央部:	荘島、日吉、篠山、京町、南薰、長門石
中央南部:	鳥飼、金丸、南、津福
南西部:	荒木、大善寺、安武
西部:	城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚、三瀧、西牟田

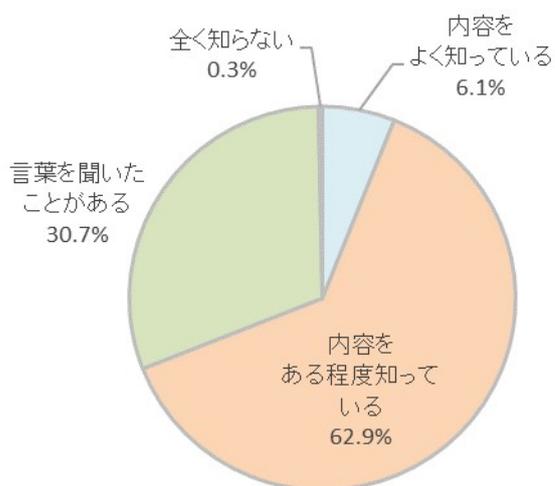
IV 調査結果

1 生物多様性の保全

(1) 生物多様性について

問1 あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、「生物多様性」という言葉を知っていましたか。

(N=313)



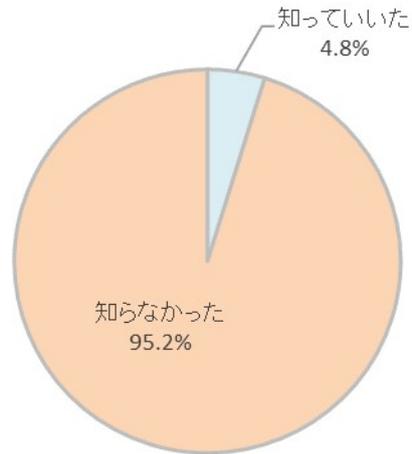
	(人)	(%)
内容をよく知っている	19	6.1
内容をある程度知っている	197	62.9
言葉を聞いたことがある	96	30.7
全く知らない	1	0.3



(2)「くるめ生きものプラン」について

問2 久留米市の豊かな自然を守り、次世代に引き継ぎ、「自然とふれあい、自然と生きるまちくるめ」を目指すために「くるめ生きものプラン」を平成29年2月に策定しました。
 「くるめ生きものプラン」という言葉について、あなたは、市政アンケートモニター「くるめ二」に参加する前から知っていましたか。

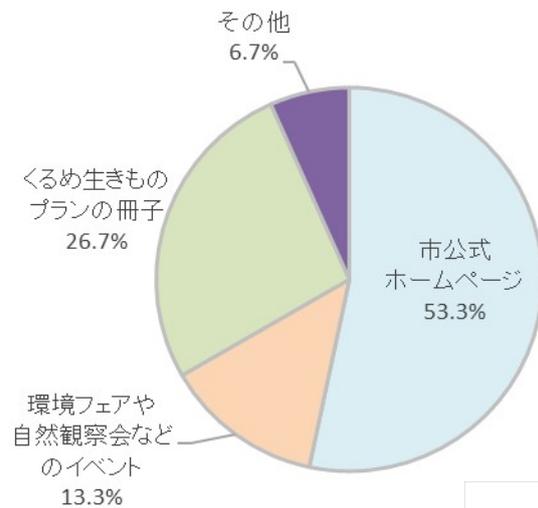
(N=313)



	(人)	(%)
知っていた	15	4.8
知らなかった	298	95.2

問2付問 問2で「知っていた」と回答された方におたずねします。何をきっかけに「くるめ生きものプラン」のことを知りましたか。

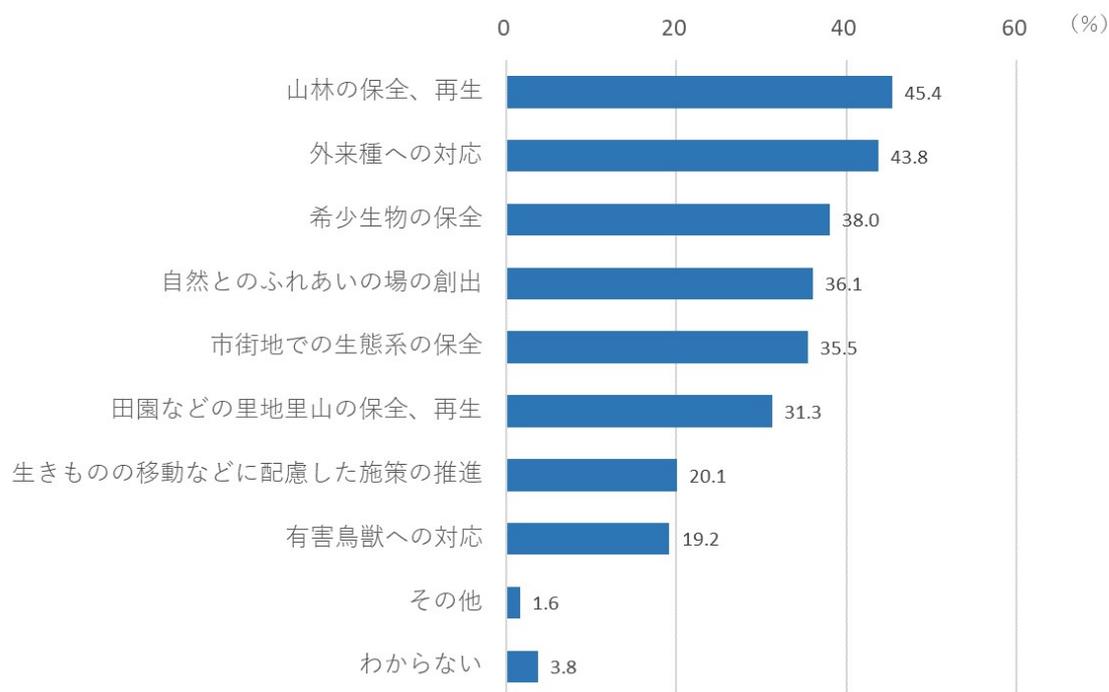
(N=15)



	(人)	(%)
市公式ホームページ	8	53.3
環境フェアや自然観察会などのイベントや説明会	2	13.3
くるめ生きものプランの冊子	4	26.7
その他	1	6.7

問3 「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すためには、「生きものの生息環境が守られたまちづくり」が必要です。そのために市が重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。（※複数回答3つまで）

(N=313)

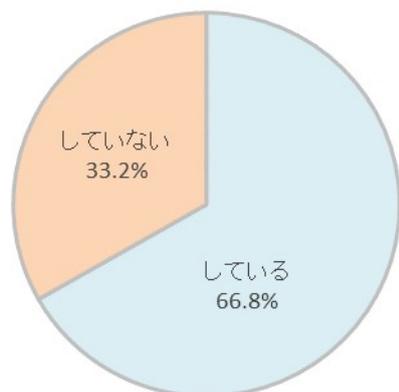


	(人)	(%)
山林の保全、再生	142	45.4
外来種への対応	137	43.8
希少生物の保全	119	38.0
自然とのふれあいの場の創出	113	36.1
市街地での生態系の保全	111	35.5
田園などの里地里山の保全、再生	98	31.3
生きものの移動などに配慮した施策の推進	63	20.1
有害鳥獣への対応	60	19.2
その他	5	1.6
わからない	12	3.8

問4 「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すためには、「自然と暮らしが
 ながる仕組みづくり」が必要です。そのためにも一人ひとりが身近なところから行動する
 ことが重要です。

日々の生活の中で、あなたは自然や生きものを守るための行動をしていますか。

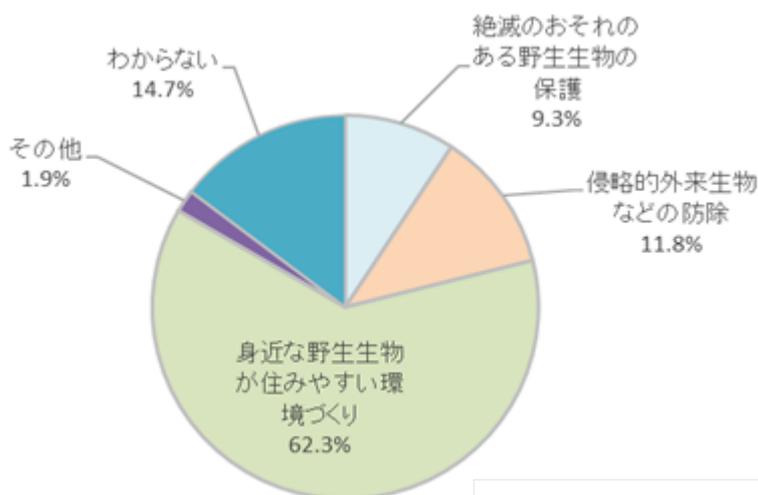
(N=313)



	(人)	(%)
している	209	66.8
していない	104	33.2

問5 「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すためには、「自然を守り、暮ら
 しにつなげる人の育成」が必要です。あなたが自然環境や生物多様性の保全活動に取り組
 む場合、どのような活動を行いたいですか。

(N=313)

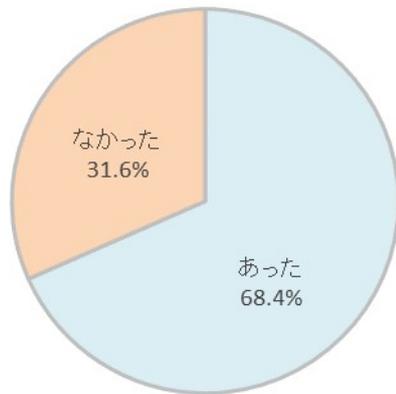


	(人)	(%)
絶滅の恐れのある野生生物の保護	29	9.3
侵略的外来種などの防除	37	11.8
身近な野生生物が住みやすい環境づくり	195	62.3
その他	6	1.9
わからない	46	14.7

(3) 自然環境の保全について

問6 あなたは、この1年くらいの間に、身近に自然を感じたり、生きものと自ら進んでふれあったりしたことがありましたか。

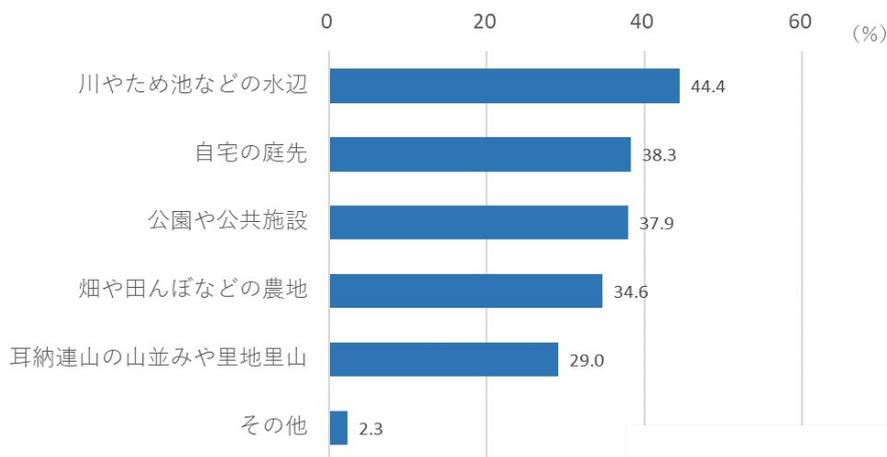
(N=313)



	(人)	(%)
あった	214	68.4
なかった	99	31.6

問6付問 問6で「あった」と回答された方におたずねします。身近な自然を感じたり、生きものと自ら進んでふれあった場所はどこですか。(※複数回答)

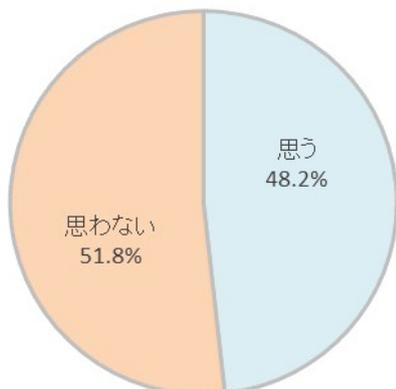
(N=214)



	(人)	(%)
川やため池などの水辺	95	44.4
自宅の庭先	82	38.3
公園や公共施設	81	37.9
畑や田んぼなどの農地	74	34.6
耳納連山の山並みや里地里山	62	29.0
その他	5	2.3

問7 久留米市内にある花や緑、水辺などの自然環境の魅力は高まっていると思いますか。

(N=313)

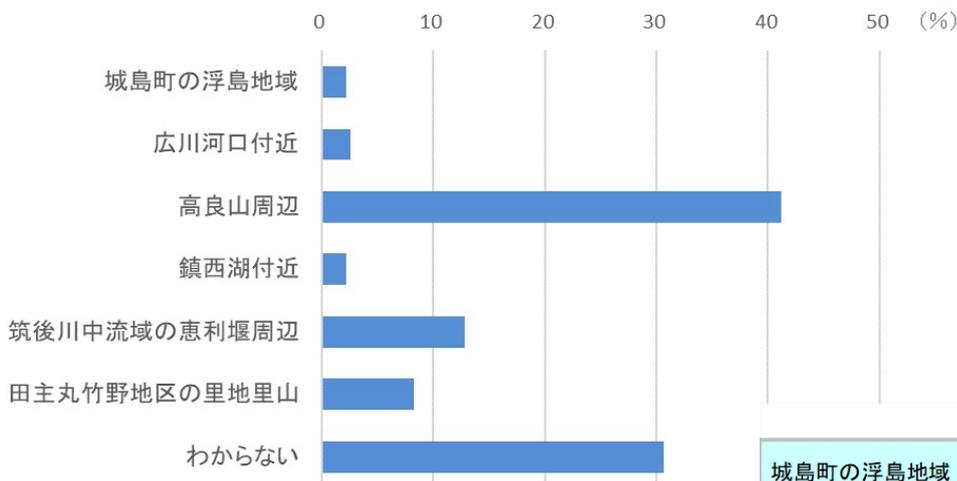


	(人)	(%)
思う	151	48.2
思わない	162	51.8

問8 久留米市では、自然環境調査を実施して、5地区の「優れた生態系を有する地域」を選んでいます。また、平成27年に環境省より「生物多様性保全上重要な里地里山」として田主丸の竹野地区が選定されています。

下記の地域の中で、あなたが特に守るべき自然環境を有すると思う場所はどこですか。

(N=315)



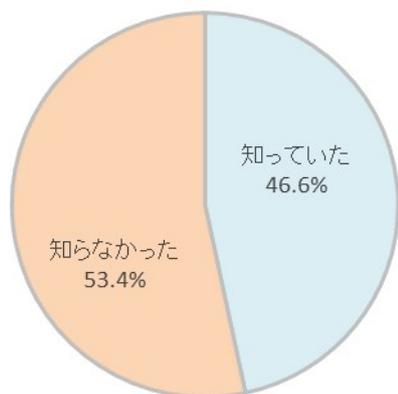
	(人)	(%)
城島町の浮島地域	7	2.2
広川河口付近	8	2.6
高良山周辺	129	41.2
鎮西湖付近	7	2.2
筑後川中流域の恵利堰周辺	40	12.8
田主丸竹野地区の里地里山	26	8.3
わからない	96	30.7

2 人権のまちづくり

(1) 人権教育・啓発推進事業について

問9 あなたは、「くるモニ」に参加する前から「人権教育・啓発推進事業」（中学校区人権のまちづくり）について知っていましたか。

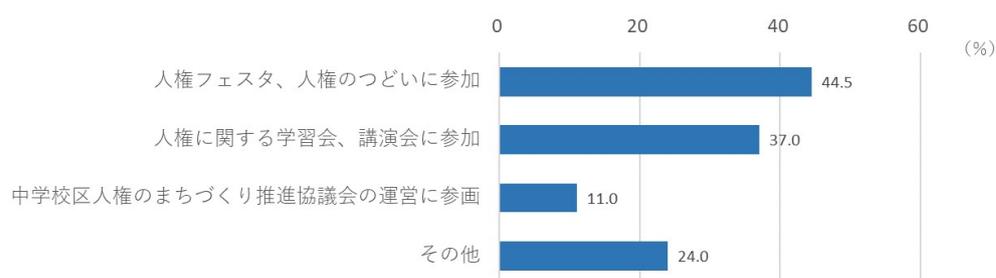
(N=313)



	(人)	(%)
知っていた	146	46.6
知らなかった	167	53.4

問9付問 問9で「知っていた」と回答された方におたずねします。「人権教育・啓発推進事業」（中学校区人権のまちづくり）の取り組みについて、どのようにして知りましたか。
(※複数回答)

(N=146)

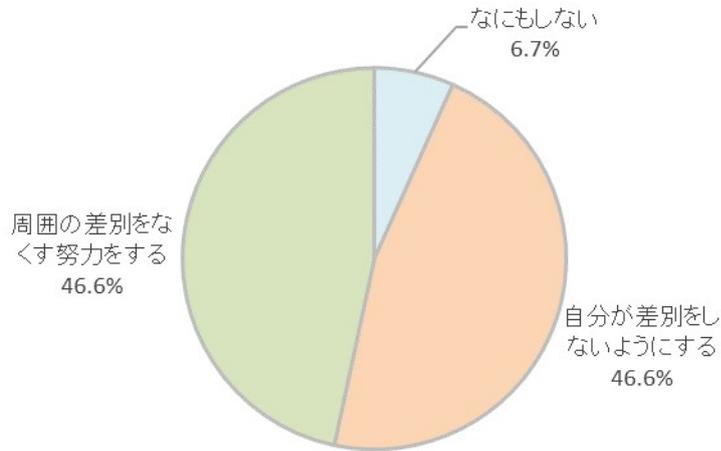


	(人)	(%)
人権フェスタ、人権のつどいに参加	65	44.5
人権に関する学習会、講演会に参加	54	37.0
中学校区人権のまちづくり推進協議会の運営に参画	16	11.0
その他	35	24.0

(2) 人権・同和問題について

問10 あなたは、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を解決するために、どんなことをすればよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

(N=313)



	(人)	(%)
なにもしない	21	6.7
自分が差別をしないようにする	146	46.6
自分が差別をしないようにする とともに、周囲の差別をなくす 努力をする	146	46.6



令和元年度市政アンケートモニター「くるモニ」

第3回「生物多様性の保全」「人権のまちづくり」アンケート

調査期間：令和元年9月27日（金）から 10月15日（火）まで

1 生物多様性の保全

生物多様性についておたずねします

問1 地球上には、森、里山、川、海など様々な自然環境に適応して生息している生きものが約3000万種いると言われていています。この多様な生きものが「食べる、食べられる」の関係をはじめ、複雑に関わりあい、様々な環境に合わせて生活していることを「生物多様性」と言います。

あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、「生物多様性」という言葉を知っていましたか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 内容をよく知っている
- 2 内容をある程度知っている
- 3 言葉を聞いたことがある
- 4 全く知らない

「くるめ生きものプラン」についておたずねします

問2 久留米市の豊かな自然を守り、次世代に引き継ぎ、「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すために「くるめ生きものプラン」を平成29年2月に策定しました。

「くるめ生きものプラン」という言葉について、あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

次ページ付問へ

付問 問2で「1 知っていた」と回答された方におたずねします。何をきっかけに「くるめ生きものプラン」のことを知りましたか？
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 市公式ホームページ
- 2 環境フェアや自然観察会などのイベントや説明会
- 3 くるめ生きものプランの冊子
- 4 その他 ()

問3 「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すためには、「生きものの生息環境が守られたまちづくり」が必要です。そのために市が重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。

(あてはまる番号に3つまで○印)

- 1 希少生物の保全 (絶滅の恐れのある野生生物やその生息地の保護など)
- 2 市街地での生態系の保全 (緑化など)
- 3 自然とのふれあいの場の創出 (河川や、公園、耳納山地などの地域資源)
- 4 山林の保全、再生 (森の造林、保育など)
- 5 生きものの移動などに配慮した施策の推進 (環境に配慮した公共工事など)
- 6 外来種への対応 (侵略的外来種 (アライグマ、セアカゴケグモ等) の防除など)
- 7 有害鳥獣への対応 (有害鳥獣 (シカ、イノシシ等) の調査、捕獲など)
- 8 田園などの里地里山の保全、再生 (中山間地域の持続的な農業活動支援など)
- 9 その他 (具体的に :)
- 10 わからない

問4 「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すためには、「自然と暮らしがつながる仕組みづくり」が必要です。そのためにも一人ひとりが身近なところから行動することが重要です。

日々の生活の中で、あなたは自然や生きものを守るための行動をしていますか？

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 している
- 2 していない

※次のような行動が、自然や生きものを守ることに繋がります

- ・省エネ(温暖化対策)に取り組む
- ・近所へ行く際、自家用車を使わず、徒歩、自転車を利用する
- ・旬の食材や、地元で生産されたものを食べる
- ・詰め替え用商品など、環境に優しい商品を購入する
- ・緑のカーテンづくりをする
- ・山や川へ行って、自然と触れ合う
- ・ペットは最後まで責任を持って育てる
- ・自然観察会や自然環境保護活動に参加する
- ・手作り堆肥で、野菜などを作る
- ・地域の清掃活動に参加する

問8 久留米市では、自然環境調査を実施して、5地区（下記1～5）の「優れた生態系を有する地域」を選んでいきます。また、平成27年に環境省より「生物多様性保全上重要な里地里山」として田主丸の竹野地区（下記6）が選定されています。

下記の地域の中で、あなたが特に守るべき自然環境を有すると思う場所はどこですか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 城島町の浮島地域（下図A）
- 2 広川河口付近（下図B）
- 3 高良山周辺（下図C）
- 4 鎮西湖付近（下図D）
- 5 筑後川中流域の恵利堰周辺（下図E）
- 6 田主丸町竹野地区の里地里山（下図F）
- 7 わからない



※これで「生物多様性の保全」についての質問を終了します。

次のページからは「人権のまちづくり」についておたずねします。

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課

住所 久留米市城南町1 5 番地 3

TEL 0942-30-9015

FAX 0942-30-9711

E-Mail sodan@city.kurume.fukuoka.jp